

2007.6

第13号



# ふれあい

## 基本理念・基本方針

### 【基本理念】

赤十字の基本理念に基づき、患者様の権利と医療人としての倫理を守り、医療の質の向上と患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます。

### 【基本方針】

- ① 地域の皆様から信頼される病院を目指します。
- ② 救急医療の充実、安全でより高度な医療の提供に努めます。
- ③ 地域の医療機関との連携強化(病診連携、病病連携)に努めます。
- ④ 国内外の医療救援活動に積極的に参加します。
- ⑤ 健全な経営と働きがいのある病院を目指します。

## 知ってるつもり？たばこの害

「たばこが体によくないってことは知ってるんだけど…。本当に良いことは一つもないの？」という方はいませんか。たばこには4,000種類以上の化学物質が含まれています。ニコチン、タール、一酸化炭素をはじめ200種類以上の有害物質と60種類の発がん物質が含まれているので、吸い続けていると健康にいろいろな害をもたらすのです。さらに周囲で煙を吸った人にも害が及ぶことを理解してください。

### たばこが及ぼす身体への悪影響

一番知られているのが肺がんで、その他のがんや高血圧、脳梗塞、胃潰瘍などとの関連も指摘されています。また、女性などは肌荒れやしみの原因になるとも言われています。

### 周囲の人々への影響

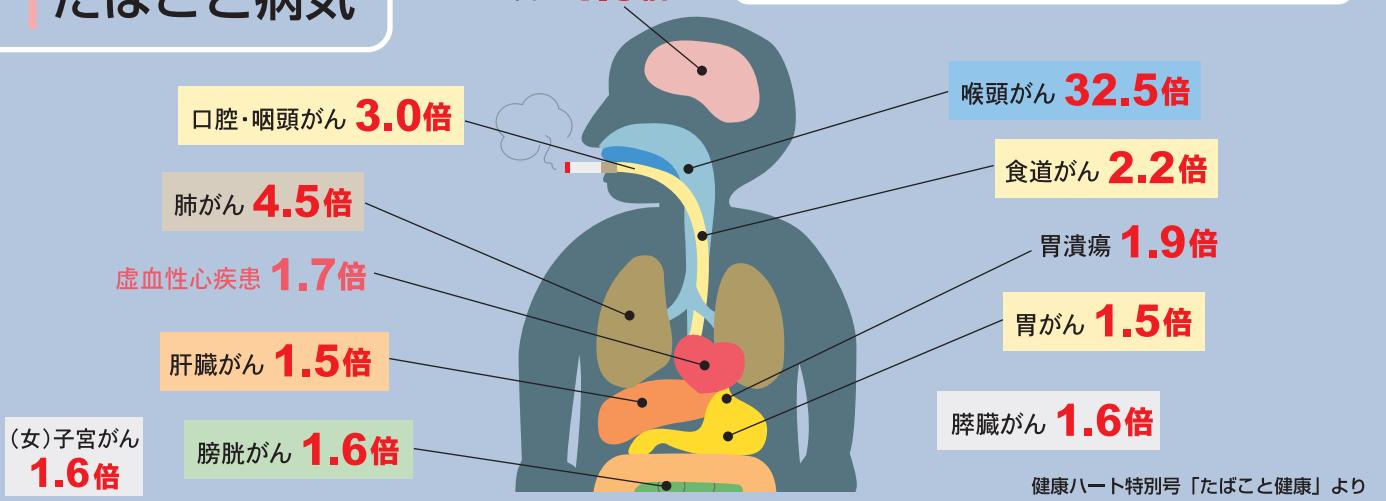
たばこを吸わない人が、周囲の人の吸っているたばこの煙を吸ってしまう受動喫煙。たばこに含まれる有害物質は、喫煙者が吸っている「主流煙」よりも、たばこの火から立ち上がる「副流煙」や、喫煙者が吐き出す煙に多いので、たばこを吸わない人も受動喫煙で健康を害してしまいます。

### 子どもへの影響が大きい

母親が喫煙する3歳児に10人に1人が喘息様気管支炎になるといわれています。これは母親が喫煙しない場合の4.3倍。肺の成長、発達の遅れや呼吸機能の低下を引き起こす恐れがあります。

### たばこと病気

非喫煙者と比較した喫煙者の死亡率(男)



# 生活習慣と健康—メタボリックシンドローム

メタボリックシンドローム\*は内臓脂肪症候群ともいい、最近、新聞やテレビで耳にすることも多いと思います。内臓脂肪型肥満に加えて、高血圧や糖尿病、高脂血症などの異常を複数併せ持っている状態で、放置しますと心臓病や脳卒中につながりかねません。注意しなければいけないのは、ひとつひとつの異常はごく軽くとも重なりあつてると動脈硬化が進みやすいという点です。肥満には二つのタイプがあって、皮下脂肪型は女性に、内臓脂肪型は男性に多い肥満です。内臓肥満の目安であるウエスト周囲径が大きい方は、不規則な食生活をなどを見直しましょう。内臓肥満は皮下脂肪より運動の効果が現れやすいので、30分以上の速歩など運動の習慣をつけるよう心がけてください。もちろん、適正なカロリー摂取も大切です。

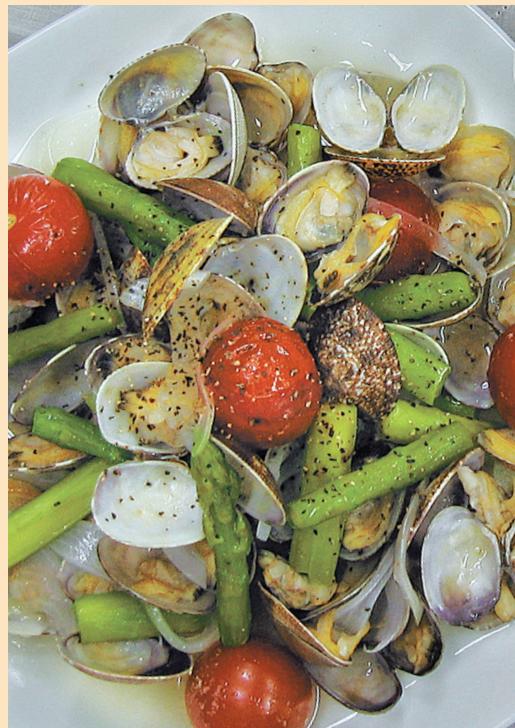
\*ウエスト周囲径 **男性85cm以上、女性90cm以上**の方で、次のいずれか**2つ以上**当てはまる人が、メタボリックシンドロームです。

1 最高血圧が  
**130mmHg**以上、  
または最低血圧が  
**85mmHg**以上

2 空腹時の  
血糖が  
**110mg/dl**以上

3 中性脂肪が  
**150mg/dl**以上、  
または  
HDLコレステロールが  
**40mg/dl**未満

## ●あさりのワイン蒸



材料  
一口メモ

あさり

潮干狩りのシーズンです。潮のかおりの豊かなあさりは、色々な栄養成分に富んでいます。鉄やビタミンB12などの貧血予防の効果。またタウリンは動脈硬化の予防の効果もあります。あさりの栄養成分は調理をすると汁に流れ出ますからうまいや栄養成分を無駄なくいかすためにも汁ごと食べられる調理法にしたり、パンに汁を吸わせて一緒に食べたりするのがおすすめです。

グリーンアスパラガス

1日に6~8cmも芽を伸ばす生命力の強い野菜です。アスパラギン酸は新陳代謝を活発にし、疲労回復や滋養強化に効果的です。カルテン、ビタミンB2も豊富で皮膚や粘膜、血管の健康を保つにも役立ちます。おいしく味わうには新鮮なものがおすすめです。時間がたつと苦みがでてしまいます。

### 材料（4人分）

あさり ..... 500g  
ローリエ ..... 1枚  
白ワイン ..... 1/2カップ  
たまねぎ ..... 1/2個  
グリーンアスパラガス ..... 4本  
ミニトマト ..... 100g  
オリーブ油 ..... 大さじ1弱  
粗びき黒こしょう ..... 少々

### 作り方

- 1 あさりは砂出し（塩水につけ冷暗所に30分以上おく）した後、よくこすり洗いし汚れを落としておく
- 2 たまねぎは薄切りにする。
- 3 アスパラガスは根元のかたい部分を取り除き下から4cmくらいまで皮を薄くむいて4cmくらいに切っておく。
- 4 ミニトマトはへたをとっておく。
- 5 フライパンにあさり、ローリエ、白ワインをいれふたをして2分くらい蒸す。
- 6 あさりの口が開いたらたまねぎ、グリーンアスパラガス、ミニトマトを加え、1~2分いためる。
- 7 最後にオリーブ油をからませうつわに盛って粗びき黒こしょうをふる。

# 平成19年度 市民公開講座開催計画（案）

	開催予定日(土曜日)	担当科(課)	担当者	テ　マ	会　場	備　考
1	平成19年5月19日	泌尿器科	泌尿器科	男50歳を過ぎたら… 気になる前立腺の病気とPSAのおはなし ～前立腺肥大症・前立腺がんについて～	A8 講堂	
2	6月16日	助産師業務検討会	看護部	助産師と話してみよう！更年期の過ごし方	A8 講堂	
3	7月21日	小児科	小児科	子どもの急病～考え方と対処法～	A8 講堂	
4	9月15日	整形外科	整形外科	中高年の膝関節痛について～変形性膝関節症～	A8 講堂	
5	10月20日	看護部	医療安全対策室	家庭でできる感染予防	A8 講堂	
6	12月1日	神経内科	神経内科	脳梗塞を症状から考える～治療のタイミングを逃さないために～	成田市保健福祉館	成田市共催予定
7	平成20年1月19日	精神科	精神科	眠れない人へのアドバイス～睡眠障害(不眠症)について～	A8 講堂	
8	2月16日	栄養課	栄養課	健康と食事	A8 講堂	

公演時間13:30～15:30（開会挨拶、終了後の質疑応答含む。休憩は適宜） \*開場時間は13:00

## 院内禁煙について

当院は、平成15年5月の健康増進法以前より、敷地内及び管内における分煙を行っておりましたが、健康増進に取り組む最前線にある医療機関としての社会的役割を推進する一環として、平成19年4月1日より館内（屋上含）全面禁煙としましたので、当院ご利用の皆様への、管内（屋上含）全面禁煙のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 小児科紹介

成田赤十字病院小児科は、千葉県北総地域の基幹病院として生まれたばかりの赤ちゃんから18歳の高校生まで、新生児、小児のありふれた病気から高度専門医療をする病気まで幅広い診療をしています。最近は小児科も専門分化が進んできておりますが、当科では一応の小児疾患全般を診療しており、さらに高度の診療が必要の場合には専門病院に紹介をしております。当院小児科には、血液、内分泌、感染症の専門医が常勤しており、白血病、悪性リンパ腫等の血液疾患、低身長、甲状腺、糖尿病、肥満症、高脂血症等の内分泌代謝疾患、伝染性の感染症疾患の診療に力を注いでおります。小児科は日本小児科学会の認定研修施設でもあり、研修医の教育、研修指導も行っています。

小児科病床数は、一般42、新生児センター18の60床です。



外来診療の受付時間は午前8時30分から11時まで、診療開始時間は午前9時です。

午後は特殊外来が行われており、すべて予約制です。月曜日は予防接種、火曜日は乳児検診、水曜日は内分泌、血液、心臓外来、木曜日は血液、内分泌、神経外来、金曜日は発達外来です。予約は月～金の午後に受付しています。

救急医療体制として小児科医が毎日当直しており、地域連携医療にも力をそそぎ、常時診療所等よりの救急患者の受け入れをしています。

### ●医師紹介（平成19年度）

常勤医（専門領域）	眞山和徳（内分泌） 五十嵐俊次（血液）	角南勝介（血液） 野口 靖（血液）	野口博史（新生児、感染） 渡邊智之（内分泌）
非常勤医（専門領域）	杉田克生（神経）	清宮伸代（感染）	本田隆文（循環器）
研　修　医	古館和季　秋田直洋　田尾克生　野崎章仁		

診療受付時間 8:30~11:00 (自動再来受付機による再診受付は7:00から) 但し形成外科は12:30から

診療科目		月	火	水	木	金	土(第1・3・5)
内科	① 初診	柳沢孝夫	第2・3・4・5 尾世川正明 第1 松浦康弘	尾世川正明	小方信二	蓮沼桂司	新島 小方 志賀 江渡 平栗 木下 森尾比呂志/平栗雅樹 松浦康弘/尾世川正明 (PM) 橋本 亨 伊能崇税(指定患者) (訪問) 尾世川正明 柳沢孝夫 DM外来 交代制
	②	森尾比呂志	青塙信之	脇田 久	新島真文	森尾比呂志/平栗雅樹	
	③ 初回再診	倉本充彦/齊藤美弥子	平栗雅樹	江渡秀紀	森尾比呂志/松浦康弘	松浦康弘/尾世川正明	
	⑭ 循環器(PM)	(PM) 志賀 孝	小方信二 柳沢孝夫	青塙・鹿島/大橋 (PM) 吉村		(PM) 橋本 亨	
	⑤ 総合1	塚本祥吉	力武はぎの	柳沢孝夫	尾世川正明	山本 豊	
	⑥ 総合2	逸見隆太	遠藤哲也	森尾比呂志	(膠原病)柳沢孝夫	織田 聰	
	④ 血液内科	青塙信之	脇田 久	松浦康弘	脇田 久	脇田 久	
	⑧ 消化器内科	小方信二	伊能崇税	福田和司	鹿島 助	木下真子	
	⑨ 呼吸器内科	新島真文	江渡秀紀	新島真文	(喘息外来)平栗雅樹	齊藤美弥子	
	⑩ 循環器内科	尾世川正明	藤巻茂謙	吉村将之	志賀 孝	橋本 亨	
	⑪ 腎臓内科	加藤慶三・玉置奈緒子	大橋弘文	(膠原病) 平栗雅樹	(糖尿病)松尾 哲	倉本充彦	
	⑫ 糖尿病内科	糖尿病外来	井野あすさ	松尾 哲	山根天道		
	(午後)				江渡秀紀/平沼康典		
救急外来	午前	大原克仁(平栗)	野口和之(森尾)	山本 豊	逸見隆太	赤畠 徹(森尾・平栗)	4. 織田 聰
	午後	増子 忍(平栗)	永野秀和(森尾)	岡部恵美子	岩本太郎	吉川和秀(森尾・平栗)	5. 力武はぎの 6. 塚本祥吉
人間ドック 糖尿病教室	午前	松岡祐之	蓮沼桂司	蓮沼桂司	伊能崇税	松岡祐之	蓮沼桂司/伊能崇税
	午後	松尾 哲				松尾 哲	
外科	初診	大多和 哲	清水善明	石井隆之	西谷 慶	近藤英介	伊藤勝彦
	再診	小川 清	石井隆之	近藤英介	小川 清	大多和 哲	
心臓血管外科		清水善明	伊藤勝彦	清水康仁/波木一馬	横山航也	西谷 慶	
整形外科	初診	喜多恒次・山崎博範	斎藤正仁・佐久間 純	川口佳邦	板橋 孝	小泉 渉	佐久間 純・山崎博範
	再診	三枝 修	板橋 孝	三枝 修	三枝 修	板橋 孝	第1 小泉 渉
小児科	初診・再診	小泉 渉	喜多恒次	斎藤正仁	斎藤正仁	喜多恒次	第3 喜多恒次
		川口佳邦	山崎博範	小泉 渉・佐久間 純	佐久間 純	川口佳邦	第5 川口佳邦
精神科		眞山と徳	野口博史	角南勝介	眞山と徳	眞山と徳	角南勝介
		第1・3 渡邊智之	五十嵐俊次	野口 靖	渡邊智之	五十嵐俊次	第1・5 五十嵐俊次
産婦人科	初診・再診	第2・4 野崎章仁	清宮伸代	第1・3 清宮伸代	第2・4 清宮伸代	古館和季	第3 渡邊智之
		清宮伸代・古館和季	野崎章仁	秋田直洋	田尾克生	秋田直洋	清宮伸代・野崎章仁
産婦人科	特 殊 外 来 (要予約)	第1~4 (予防接種) 交 代 制	(牛乳健診) 交 代 制	(内分沁)眞山と徳 (血液)角南勝介 (循環器)東京女子医大	(血液)五十嵐俊次 野口 靖 (内分沁)渡邊智之 第4(神経)杉田克生	(発達)野口博史	
	午後						
眼科学		完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	米山智子	中村道夫	加藤 誠	50歳以上 柴橋博之
耳鼻咽喉科	初診・再診	坂本建彦	小幡新太郎	杉田達哉	上杉健悟	国保能彦(第3)	第1交代制 第3・5 加藤 誠
	再診	杉田達哉	田中 圭・佐久間有加	上杉健悟・山地ア希	小幡新太郎	坂本建彦	山地・佐久間(交代制)
皮膚科	初診・再診	小幡新太郎	坂本建彦	佐久間有加	山地ア希	杉田達哉	上杉・杉田・小幡(交代)
		田中 圭(腫瘍)	田中 圭(KSP)	杉田達哉(不妊)	小幡新太郎(ハイリスク)	杉田達哉(不妊)	
泌尿器科		第1~4 (ハイリスク)	(6月より)				
		杉田達哉(不妊)					
神経内科		完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	渡部美博 水鳥川俊夫・津田可奈	交代制	交代制	渡部美博 水鳥川俊夫・横内裕敬
精神科	初診・再診	根本俊光	佃 朋子	初診紹介患者のみ	横内裕敬・津田可奈	横内裕敬	交代制
	再診	橘 昌利・磯山恭子	大学医師	磯山恭子	根本俊光	佃 朋子	初診・指定患者
放射線科		紹介患者のみ	初診・再診	米山 啓 川島拓也	手術日	米山 啓 川島拓也	米山 啓・川島拓也
麻酔科						真鍋恵津子	(初診のみ)
口腔外科	完全紹介制 紹介患者のみ	初診・再診	林 幸雄 中村光真	林 幸雄 中村光真	林 幸雄 中村光真	林 幸雄 中村光真	
形成外科	初診・再診	黒木知明 長谷川正和 秋田新介		黒木知明 長谷川正和 佐藤真嘉		黒木知明 長谷川正和 秋田新介	
		12:30~					
呼吸器外科		初診・再診	斎藤幸雄	斎藤幸雄	斎藤幸雄	斎藤幸雄	

※内科①~⑬は診療室の番号です。※眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・口腔外科の初診は紹介患者のみとなります。

### 患者様の権利

- 私たちは、患者さまの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。
- あなたの尊厳を守ります。
  - 適切な医療を受ける権利を尊重します。
  - 診療についての十分な情報、説明を受ける権利を尊重します。
  - 自分自身の治療について自分で決定する権利を尊重します。
  - あなたのプライバシーが守られます。

### 患者様に守っていただきたいこと

- 適切な診療を受けるために、今まで受けた医療の内容や健康状態をスタッフに正確にお知らせください。
- 診療の内容について十分に説明を受けてください。
- あなたご自身及び患者様の診療を円滑に行うために、病院の規則等を守るようお願いします。
- 医療費の支払いは、速やかにお願いします。